

## 令和4年度 多可町当初予算

- 【2期市政の基調】 **住みたい町・住み続けたい町へ**  
～地域創生を目指して～
- 【令和4年度】 **子育てするならダントツ多可町**  
**生涯学び続けられる生きがいあふれる町**

### ■一般会計 ■ 重点事業

☆新規 ◎ (○) 継続・拡充・再編

## I 安全安心のまちづくり

### ◎新ごみ処理施設整備事業（継続）.....24,339 千円

豊かな自然環境を守り、町民が健康で文化的な生活を営むため、適切なごみ処理を行い、ごみのない美しい町を目指します。

1市1町の新たなごみ処理施設整備に向けて、造成工事や発注支援業務等を実施します。

### ☆避難所通信環境整備事業（新規）.....6,050 千円

災害拠点で指定避難所となっている加美コミュニティプラザ、八千代コミュニティプラザ、アスパル、ベルディーホールの4施設に災害時に安心して過ごしていただけるよう無料でWi-Fiが利用できる環境を整備します。

### ◎地域交通対策事業（継続）.....110,660 千円

路線バスの維持と利用しやすい運行体系の構築を進めながら、路線バスのバス停から概ね500m以上に位置する世帯を対象にタクシー利用助成を行い、住民生活における移動手段を確保します。

また、路線バスを利用する町外在住の多可高校生に通学定期券助成を行うことで多可高校の活性化を支援します。

本年度から2カ年かけて、公共交通ネットワークの将来像及びそれを実現するための施策と具体的な取り組み内容を示すため多可町地域公共交通活性化協議会が行う「多可町地域公共交通計画策定事業」について補助を行います。

### ○タクシー利用助成（継続）.....1,800 千円

### ○多可高校生通学定期補助（継続）.....1,881 千円

### ☆多可町地域公共交通計画策定事業補助金（新規）.....5,000 千円

## II 官民連携の推進～民でできることは民で～

☆商工会館建設補助金（新規）.....41,000 千円

商工会館建設への補助を行います。

## III 地域共生社会づくりによる地域力・住民力の向上に向けて

◎地域共生社会づくり推進事業（継続）.....3,171 千円

「地域共生社会」の実現を推進するため、地域課題の解決力強化、公的支援の「縦割り」から「丸ごと」への転換を図る体制の整備等を目指した事業を展開します。

「コークゼミ・あったかは～とらいん」を継続開催するとともに、修了生の活躍の場を広げ、住民と協働したさらなる事業の推進・強化を図ります。

☆生涯学習まちづくりプラザ建設事業（新規）.....160,000 千円

生涯学習に関する情報提供機能、学習スペースや交流機能、図書館機能などを備えた生涯学習を通じたまちづくりの拠点施設「(仮称)多可町生涯学習センター」改め「多可町生涯学習まちづくりプラザ」を整備し、「生涯学び続けられるまち」の実現を目指します。

本年度は造成工事の設計、本体工事の基本設計・実施設計を行います。

## V まちへの愛着を醸成し、定住促進を図る

◎移住定住促進事業（継続）.....18,799 千円

自然豊かで魅力ある町の情報を発信し、多可町への移住定住を促進します。

定住コンシェルジュを配置して、町内外への広報及び町民の理解を深めるとともに、子育て・若年世代への住宅に関する支援など、包括的な施策を行います。

○あったか家族多世代住宅助成（継続）.....7,500 千円

若者世代や子育て世代が、多可町に住む親元の隣接地等で住宅を新築、増築、改築することを支援し、支え合いながらの居住を支援し、定住人口の増加を図ります。

○住宅ローン利子助成事業（継続）.....【町単独助成】.....2,013 千円

兵庫県信用組合との包括地域連携協定を踏まえ、町内に居住する若者・子育て支援策として住宅ローン利用者への利子補給を行います。

◎空き家対策事業（継続）.....16,658 千円

人口減少及び少子高齢化で空き家の増加が社会問題化しているため、空き家等に関連する施策を総合的かつ計画的に推進し、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与します。

また、移住ニーズに柔軟かつタイムリーに応え、空き家の利活用を促進するために空き家バンクの運営を外部委託し、その取り組みを強化していきます。

○空き家バンク運営委託料（継続）.....2,500 千円

☆あったか結婚お祝い金助成事業（新規）.....2,000 千円

人口減少の抑制及び少子化対策の推進を図るため、若者世代（夫婦の合計年齢が80歳未満）がご結婚された際にお祝い金（10万円）を支給します。

☆ふるさと多可町で開花応援奨学金返還支援事業（新規）.....1,200 千円

町内に住所登録があり居住する意思のある若者に対して、高校・大学等の在学中に貸与を受けた奨学金等の返還額の一部を補助することによりUIターンを促し、若者の定住と地域の人材確保を図ります。

（毎月の奨学金等返還額の1/2（月額1万円上限）、最長5年）

## VI 地域特性を活かした多可町ブランドの推進

◎水田農業構造改善事業（継続）.....13,200 千円

酒米山田錦やコシヒカリ等による米作りを中心とした土地利用型の水田農業の活性化策として食料自給率の向上と農用地の持つ多面的機能を維持するために水田収益力強化ビジョンのもとで土地利用型農業による集団取り組みや特産物の栽培に対する助成を行い、力強い農業体系の確立を図る。

新型コロナウィルス感染症等の影響を受け、日本酒の消費の低迷による山田錦の減産が危惧される中、その代替作物の集団作付けに係る補助体系を手厚くし生産者の支援を強化します。（令和3年度～令和5年度）

◎健康保養地事業（継続）.....10,933 千円

定期的なウォーキングプログラムの実施、ウォーキングコースの整備やガイドの養成、健康増進プログラムの構築、ヘルシーメニュー等の提供を、一般社団法人多可の森健康協会および森のホテルエーデルささゆりと協働して行います。

前々年度より多可町での開催を予定し、延期となっておりました「日本クアオルト協議会全国大会」の開催により、情報の発信と事業の活性化を図ります。

◎地域商社特産品販路開拓・人材育成委託料（継続）.....15,366 千円

エアレーベン八千代を拠点にラベンダー、杉原紙等地域の特産品を活用したパッケージ商品やギフト商品の開発、新商品の開発、「敬老の日」にちなんだ長寿の祝いシリーズのブランド化、カタログの作成、効果的な広告の実施、さらには独自のECサイトの作成などの取り組みを行いふるさと納税額の増加を図るとともに若手が育つ人材育成も行います。

☆地域商社運営補助金（新規）.....10,200 千円

☆地域商社法人化出資金（新規）.....1,000 千円

地域商社の法人化にあたり町から出資すると共に事業基盤安定のための補助を行います。

◎敬老の日プレゼント事業（継続）.....1,200 千円

大学生との連携事業で最優秀となった和歌山大学の「敬老の日プレゼント事業」の全国展開を進めます。

☆多可町定番お土産開発事業（新規）.....2,000 千円

京都橋大学と連携して多可町ならではの定番のお土産となる商品開発を行います。

☆シティプロモーション事業（新規）.....3,000 千円

移住希望者への認知度向上やふるさと納税への誘導を図るためネット等を活用したプロモーションを行います。

## Ⅶ 子育て支援ゾーンの整備と子育て支援の充実

◎アスパルきっずの運営（継続）.....2,368 千円

妊娠期から子育て期まで、切れ目なく支援を提供するための拠点としてアスパルきっずを設置、専任保健師 1 名を配置し、母子健康手帳の交付や妊産婦訪問、新生児訪問等をはじめとして、きめ細やかな相談支援等を行います。

◎子育てふれあいセンター運営事業（継続）.....5,638 千円

子育て中の親子の交流等を促進する支援拠点を運営し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和するため、「アスパルきっず」とも連携しながら、子どもの健やかな育ちを促進します。

◎子育てふれあいセンター利用者支援事業（継続）.....6,243 千円

育児不安を軽減し、子育てに関する相談体制の充実を図るため、子育てふれあいセンターに「子育てコンシェルジュ」を配置し、「アスパルきっず」とも連携しながら、子育て支援と母子保健の両面から、当事者に寄り添った包括的な子育て支援を行います。

◎ファミリーサポートセンター運営事業（継続）.....2,742 千円

子育ての手助けをして欲しい人と、お手伝いができる人をつなぐセンターを運営し、子どもの預かりや送迎などの支援を地域の支え合いにより展開し、子育て家庭の負担の軽減を図ります。

☆屈折検査機器購入事業（新規）.....1,690 千円

幼児の弱視を早期に発見し治療につなげるため、3歳児健診において使用する屈折検査機器を購入します。

◎乳幼児等福祉医療助成事業（継続）.....【町単独助成】 14,268 千円

乳幼児等（0歳児～小学3年生まで）に係る医療費について、県基準の自己負担を町が独自で助成することで無料化を実現し、福祉の増進を図ります。

受給対象者に係る所得制限を無くし、支援の対象を広げています。

※受給対象者：町内に住所を有する乳幼児等の保護者（所得制限なし）

◎こども福祉医療助成事業（継続）.....【町単独助成】 33,880 千円

こども（小学4年生～高校3年生まで）に係る医療費について、県基準の自己負担を町が独自で助成することで無料化を実現し、福祉の増進を図ります。

対象となるこどもを高校3年生にまで拡大し、所得制限もなくすことにより支援の対象を広げています。

※受給対象者：町内に住所を有するこどもの保護者（所得制限なし）

◎小児インフルエンザ予防接種助成事業（継続）.....【町単独助成】 4,080 千円

生後6か月から中学生までを対象に、インフルエンザ予防接種にかかる費用の一部を助成します。※2,000円／1回

◎在宅等育児手当（継続）.....【町単独助成】 9,000 千円

満1、2歳の乳幼児を日中在宅で育児されている保護者等に月額1万円を助成し、家庭での育児に対して支援を行い、保護者が希望する子育てのあり方の選択肢を広げるとともに、保育と在宅育児の子育てを地域全体で支援してい

きます。

**☆産前産後ヘルパー派遣事業（新規）.....【町単独事業】..... 300 千円**

妊娠期から出産後において、育児や家事を行うことが困難で、日中の支援者がいない家庭にヘルパーを派遣し、援助を行うことで、安心して出産・育児ができるよう支援します。

**◎あかちゃん出生祝い金支給事業（継続）.....【町単独助成】..... 7,500 千円**

赤ちゃんの出生を祝福するとともに、健やかな成長を願い、保護者の方にお祝い金（10万円）を支給します。

**☆通園バス運営費補助金（新規）..... 6,000 千円**

通園バスのあり方を見直す中で、中区については各こども園での運営に移行することとなりました。その対応として中区の3こども園の通園バス運営事業に対して補助対象経費の2分の1、200万円を上限に助成します。

**◎認定こども園等に係る主食費助成金（継続）.....【町単独助成】..... 2,520 千円**

認定こども園等に主食費を支払っている満3歳以上児の保護者又は主食（ごはん等）を持参している児童の保護者に1名あたり月額600円を限度に助成を行い、子育てを支援します。

**☆統合中学校開校準備委員会の運営（新規）..... 747 千円**

**☆統合中学校建設事業（新規）..... 200,000 千円**

生徒数が減少する中、3つの中学校を統合し適切な学校規模を維持することにより充実した学習環境を提供していきます。

本年度は準備委員会を設置し、学校統合に向けた準備を進めるとともに、統合中学校校舎及び屋内運動場等の基本設計及び実施設計を行います。

**☆小学校トイレ改修事業（新規）..... 8,600 千円**

生活様式の変化に対応し小学校のトイレの洋式化を進め、児童の学習環境の改善を図ります。

**◎奨学金（ハートフル学業支援金）事業（継続）.....【町単独助成】..... 4,200 千円**

高等学校に進学する生徒のうち経済的理由によって修学困難な生徒に対し、教科用図書の購入等に必要な学業支援金（月5,000円）を給付します。

◎学習支援員の配置による学力向上事業（継続）.....12,050 千円

全ての小学校に、抽象的・論理的な思考を必要とする学習が一層増加し、躓きやすいとされる小学 3 年生を対象として「学習支援員」を配置し、チームティーチングなど学力向上に向けた授業支援を行います。

## VIII スリムな行政への変革

◎議会ペーパーレス化事業（継続）.....3,957 千円

タブレット端末で議案等を閲覧できる環境を整備し、議会運営においてペーパーレス化及び事務の効率化・省力化を図ります。

◎各種証明書のコンビニ交付サービス（継続）.....3,698 千円

マイナンバーカードを使って、全国のコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末（マルチコピー機）から「住民票の写し」や「印鑑登録証明書」などの各種証明書が簡単に取得できるサービスで、開庁時間内に役所に出向く必要を無くし利便性の向上を図ります。

☆公会計システム電子決裁・電子請求書導入事業（新規）.....4,084 千円

会計調書を電子化し、会計処理の迅速化、ペーパーレス化を図ります。併せて請求書の電子化も進め取引先も含めた会計業務の電子化を進めます。

## IX その他主要事業

◎新型コロナウイルスワクチン接種事業（継続）.....34,681 千円

3回目の新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を行うことにより、新型コロナウイルス感染症による重症化予防等に努めます。

◎地域おこし協力隊事業（拡充）.....38,441 千円

都市から農村への人口流動を目的に、定住と起業を目指した地域おこし協力隊を受け入れ、会計年度任用職員として雇用しながら最長3年間地域活性化を担うために活動を行います。本年度2名の募集を行います。

（主な活動状況）

※多可町版地域商社の運営支援	2名
※空き家の利活用と移住定住等の支援	1名
※播州織の技術と商工観光、地域情報の発信	1名
※道の駅「杉原紙の里・多可」駅長	1名
※ラベンダーパーク多可の運営支援	1名

◎一時避難所地域共生施設整備事業（継続）.....20,000 千円

地域の一時避難所として位置づけする集落公民館等の避難所としての機能強化を行うもの、また地域共生社会づくりの拠点として、集落公民館等の整備を行うものに対して1集落 200 万円を上限に補助します。（2,000 千円×10 集落）

◎持続可能なむらづくり助成事業（拡充）.....14,725 千円

地域（集落）において、地域特性を生かした活動やこれまでに定着したむらづくり活動、防災活動及び地域共生社会づくりを軸とした持続可能なむらづくりに対して町が独自に助成を行います。

本年度から集落役員への女性参画やコークゼミへの参加と修了について特別助成を行い、その取り組みを支援します。

☆本庁舎駐車場整備事業（新規）.....26,312 千円

本庁舎の駐車スペースを確保するため、駐車場の整備を行います。

☆文化会館舞台吊物機構改修事業（新規）.....7,330 千円

◎道路維持管理事業（継続）.....248,111 千円

各路線の通行量や老朽度合いを考慮しながら舗装修繕を中心とした維持管理を進め、通行の安全を図ります。

☆町営住宅中村町団地改修事業（新規）.....62,500 千円